

旭川水害タイムライン検討会

岡山三川の概要と検討会の今後の進め方

中国地方整備局岡山河川事務所

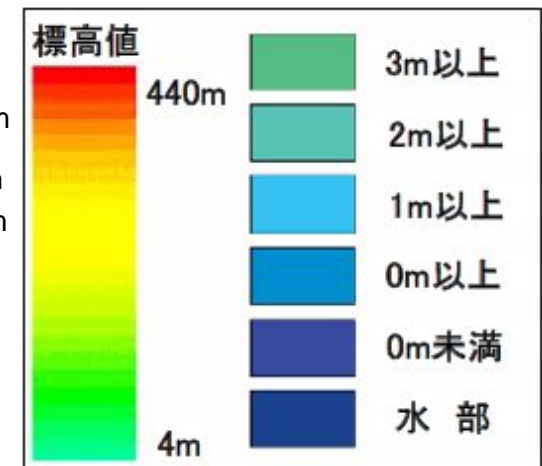
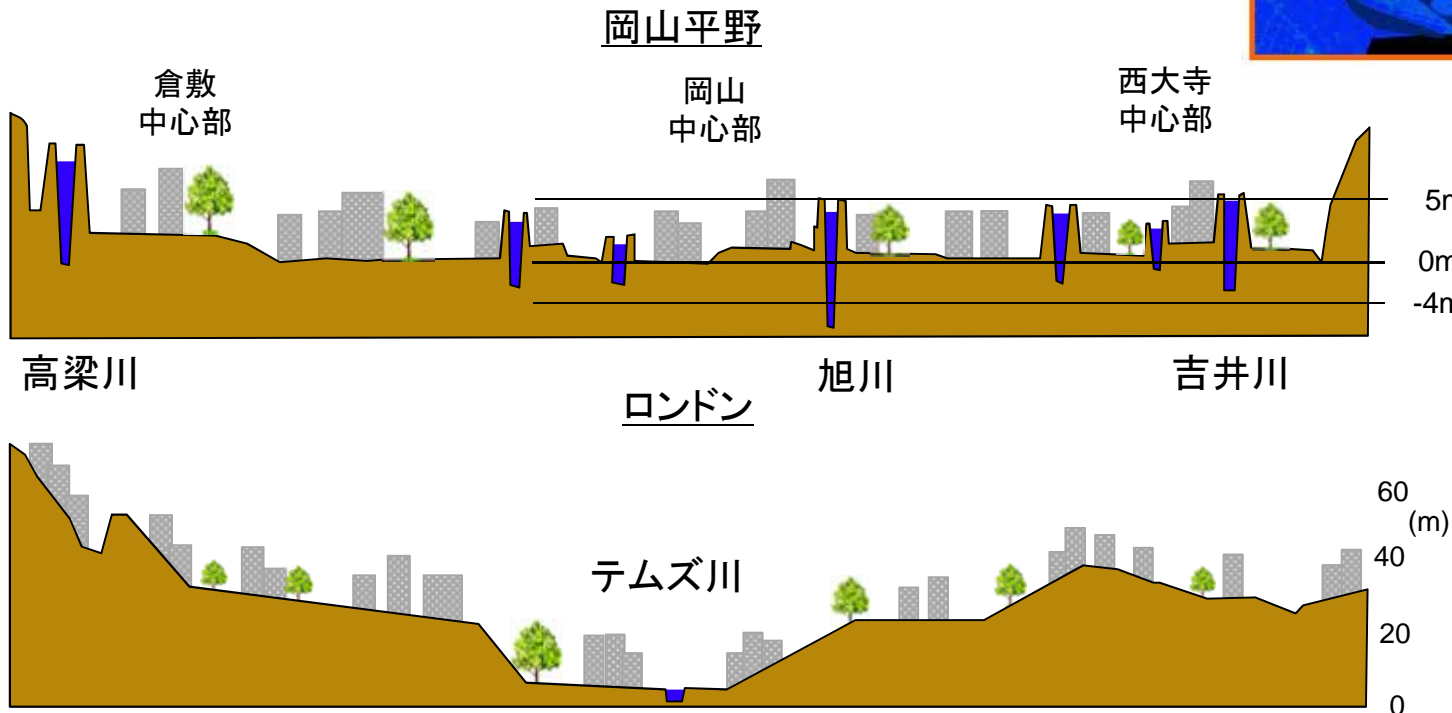
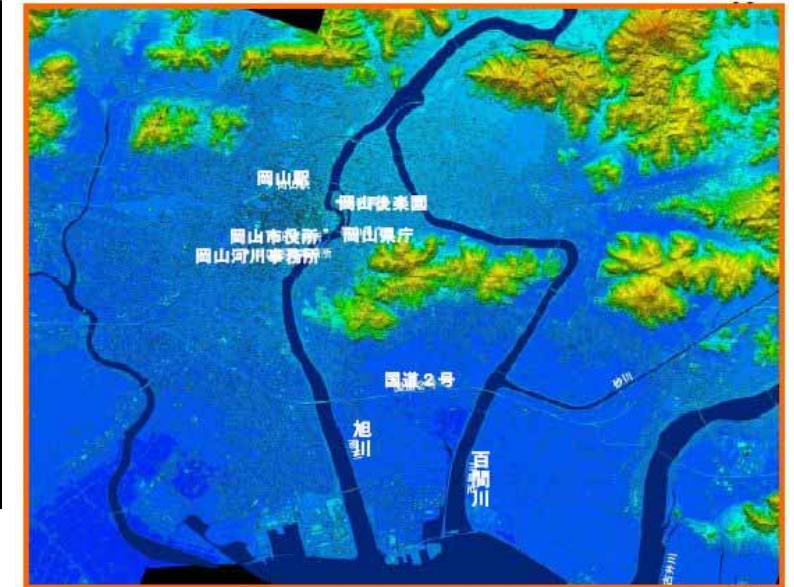
■岡山三川と旭川の概要

- 岡山平野と三河川の関係
- 古くから水害常襲地域であった岡山平野

■旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会の進め方

岡山平野と三河川の関係

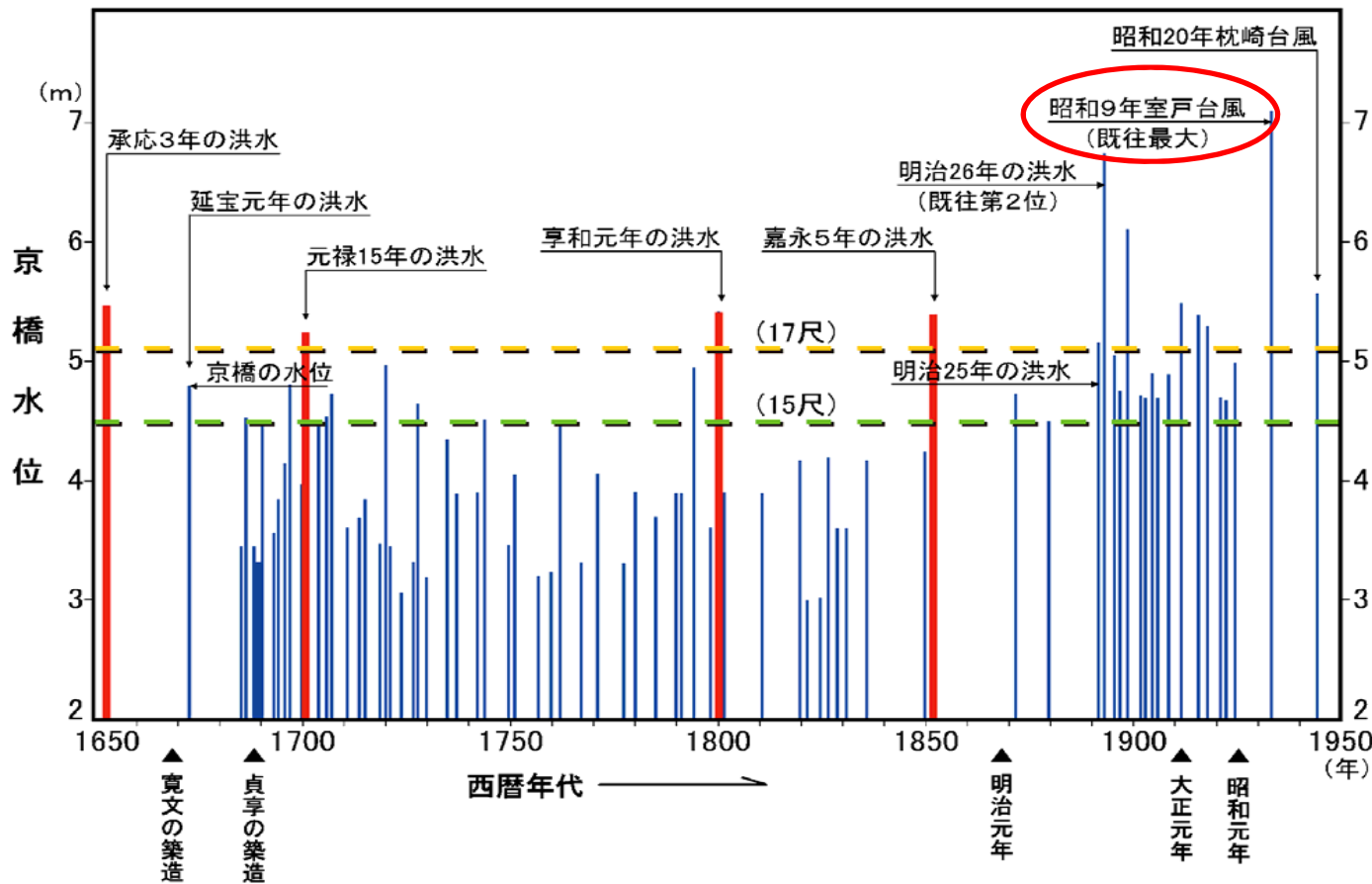
- 岡山平野は、洪水で上流から運ばれてきた土砂が堆積したできた平地と、その前面の浅い海を干拓したり埋め立てたりして作り出した土地からできていて、そこに岡山市・倉敷市をはじめとする主要都市が集中している。
- 欧米では土地の最も低いところを川が流れ、万一洪水になったとしても、川沿いの土地が浸水するだけで被害は限られる。
- 一方、低平地の岡山平野の場合は、堤防によりまちが守られており、このような土地で一旦河川がはん濫すると大きな被害に繋がることとなる。



江戸時代の主要洪水

- 江戸時代には、京橋において洪水時における常水(平水位)からの水嵩の上昇量が記録がされていた。
- 主な洪水では、承応(じょうおう)3年(1654)の洪水被害が最も大きく、その後の百間川の築造の契機となった。

京橋の水位記録



岡山城と京橋の位置

旭川の江戸時代～昭和20年(枕崎台風)の洪水の水位

出典: 百間川小史

江戸時代の主要洪水

- 江戸時代の洪水では、京橋の水位で比較した場合、百間川への分流が行われていない時代の被害が比較的大きい。
- 洪水位としては14～16尺の記録が多いが、17～18尺を越えると城下の災害が大きくなっている。

和暦	西暦	蔵知年表※ 水位	岡山藩の 記録	被害状況
承応3年 7月19日	1654	18尺余	常水+18尺	本丸の内まで水が指し込む。侍屋敷439軒、足軽等の家573軒、町屋473軒流家禿家、堤切15万2,390間、156人溺死等。
延宝元年 5月22日	1673	16.5尺 or 21.0尺	常水+16尺、 +21尺	士分流家潰家17軒、足軽家流潰73軒、町屋流潰113軒、橋落45、男女死人88人等。
貞享4年 9月9日	1687	15.0尺	記録なし	潰家1万2,749軒、破損船374艘、川堤切口7,333間在、死人30人等。
元禄4年 6月4～5日	1691	記録なし	常水+15尺	川東が被災、小橋町北の橋際3軒が床下浸水、森下町北側150軒がほとんど床上浸水等。
元禄15年 7月28日	1702	15.2尺	常水+15尺	城下並びに在郷潰家2,586軒、川筋堤所々破損1万1,800間余り、死人5人等。
元禄15年 8月29日	1702	17.4尺	常水+17尺余	城内並びに曲輪所々破損、川筋堤所々破損1万3,398間、死人1人等。
宝永5年 6月22日	1708	15.8尺	常水+15.8尺余	町潰家12軒、大川堤切43箇所延長1,466間、死人2人等。
享和元年 8月20日	1801	18.0尺	常水+18尺	不明
嘉永5年 8月22日	1852	18.0尺	常水+18尺余	中橋、小橋が流失、京橋も破損。流家(本家長屋土蔵共)32軒、潰家(同)553軒、浸水(同)6,680軒、大川堤破損延長5,964.5間、流死5人、山崩れで怪我死人15人等

百間川概成以後

旭川流域で発生した洪水被害

- 今までの歴史の中で、**台風による被害は甚大**である。
- 最近では、平成23年9月台風12号によって、岡山市内で多くの被害が発生している。

発生年月日	発生原因	下牧 ピーク流量 (m ³ /s)	下牧上流域 2日雨量 (mm)	被害状況
明治25年7月23日	台風	—	—	死者3名, 流潰家屋2,728戸 浸水家屋18,183戸
明治26年10月12日	暴風雨	—	—	死者120名, 流潰・被災家屋27,315戸
昭和9年9月21日	室戸台風	約7,600	225.6	死者60名, 流潰家屋2,929戸 浸水家屋35,214戸
昭和20年9月18日	枕崎台風	約4,800	169.0	死者・行方不明者不明 流失家屋77戸, 浸水家屋2,110戸
昭和47年7月11日	梅雨前線	約4,610	268.7	死者・行方不明者4名, 流失家屋25戸 床上浸水1,225戸, 床下浸水3,084戸
平成10年10月18日	台風10号	約4,310	179.9	死者・行方不明者3名 床上浸水358戸, 床下浸水615戸
平成16年8月31日 【高潮被害】	台風16号	約760	72.0	床上浸水9戸, 床下浸水7戸, 沖元地点 T.P.+2.632m(既往最高潮位)
平成18年7月19日	梅雨前線	約2,730	166.2	床上浸水1棟, 床下浸水33棟
平成23年9月3日	台風12号	約3,140	239.8	床上浸水135世帯, 床下浸水4,445世帯 (岡山市内)

近年の洪水(昭和47年7月洪水、平成10年10月洪水)

■戦後最大の被害が発生した昭和47年7月洪水や、近年では平成10年10月洪水など数多くの被害が発生している。

昭和47年7月洪水



平成10年10月洪水



岡山県土木部河川課HP

分派地点と中原地区



昭和9年9月室戸台風による洪水

- 昭和9年9月室戸台風の襲来により流域各所に大災害が発生した。
- 既定計画(大正15年)策定の流量(下牧基準地点5,000m³/s)を大きく上回る洪水量となった。

発生年月日 (発生原因)	下牧ピーク流量 (m ³ /s)	下牧上流域 2日雨量(mm)	被害状況
昭和9年9月21日 (室戸台風)	約7,600*1	225.6	死者 60名 流潰家屋 2,929戸 浸水家屋 35,214戸

注1) 発生年月日は、実績最大流量の観測日。
注2) 被害状況は旭川水害史、水害統計による
(水系内の集計値)。
*1: はん濫解析結果からの再現流量



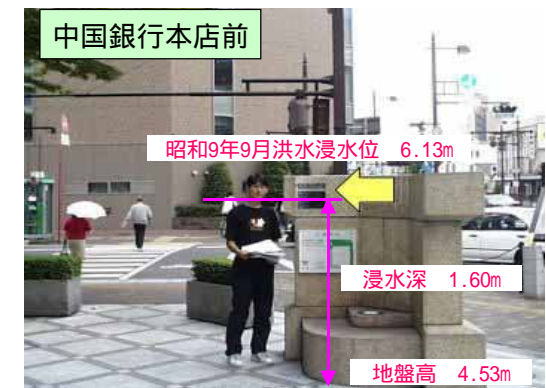
旭川の氾濫(岡山市)



岡山市内の浸水状況



岡山後楽園内の被災状況



昭和9年9月洪水による浸水深と被災状況

平成16年8月台風16号による高潮被害

- 台風16号の降雨による増水では被害は生じなかったが、百間川河口部の沖元(おきもと)潮位観測所では、観測史上最高の2.84m (零点高 TP.0.0m)を記録した。
- 旭川河口部左岸0k0~1k4付近の江並地先では、波浪による浸水(16戸)や、百間川河口付近の岡山県管理の海岸堤防において法崩れ等の被害が発生した。

岡山県管理 海岸堤防被災状況



緊急復旧完成状況



岡山県管理海岸堤防被災状況



平成16年8月台風16号で発生した
高潮による実績浸水範囲
(旭川本川河口部)



岡山県の水害被害額は全国で7番目に大きい

過去10年間(平成16~25年)年度都道府県別水害被害額(平成17年価格)

順位	都道府県名	被害額(億円)
1位	兵庫	6,169
2位	新潟	4,546
3位	宮崎	2,629
7位	岡山	2,049
11位	広島	1,467

人命を守り、被害を最小化



人命を守り、被害を最小化し、
早期の復旧を目指す。

旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会の進め方

平成27年度

平成28年1月18日14時～
「旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会」発足式

平成28年2月～3月
旭川水害タイムライン(防災行動計画)勉強会(2回)

平成28年度
旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会(3～5回)

平成28年内
旭川氾濫に対するタイムライン(試行版)を作成

図上訓練の実施

H28年度中 旭川氾濫に対するタイムラインを策定

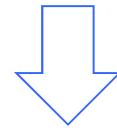
平成28年度

平成29年度

H29出水期～
実際の台風にあわせてタイムラインを実施
実施状況を検証、見直し

旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会の進め方

1	平成28年1月18日14時～ 「旭川水害タイムライン検討会」発足式
---	--------------------------------------



主要機関への風水害時における防災体制等のヒヤリングを実施

2	平成28年2月初旬から中旬 勉強会 ①タイムライン勉強会 ②気象河川情報の解説 内容については調整中
---	---



3	平成28年3月初旬 勉強会 ①旭川について ②過去の風水害の振り返り 内容については調整中
---	--



旭川水害タイムライン(防災行動計画)検討会の進め方

